

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	夢風船			第三者評価受審年度	令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年9月作成)	実施状況 (令和元年10月時点)	実施状況 (令和元年度末時点)	
支援計画の見直しの際に、単なる簡単な見直しでも、期間内での支援の総括として、利用者への聴き取りや同意を得られればと期待している。	支援計画の見直しの際は、日常の活動の中での利用者からの声や評価を基に行っている。30年度は文言等の軽微な修正については、署名による同意は取っていなかったが、令和元年度より同意を取るようにしている。	支援目標毎に評価を行うようにし、評価をより細かく行えるようにする。軽微な計画の変更でも署名による同意を取る。	令和元年9月の見直しから実施している。	令和元年9月の見直しから実施している	
職員の多忙さを軽減し効率化を図るためにも業務の整理と基準の明確化が望まれる。	大まかな担当は決めているが、日常の細かな担当までは決めていない。あまり細かく決めすぎると、かえって非効率化する可能性もあるので、検討が必要である。	日常業務の中でどのような担当を決めると効率化につながるのか、会議にて検討を行う。	10月の職員会議にて議案の提起を行い、11月会議にて業務整理表の作成を行う。	11月の職員会議で、業務内容と担当者を整理した表を作成し、活用している。	
利用者とのコミュニケーションが困難な方でもリアルな状況を把握し計画に落とし込める、ケース記録の取り方への工夫が期待される。	日々、ケース記録のチェックや指導は行っているが、徹底には至っていない。職員の技能的な問題もあるため、中長期的な取組みが必要である。	引き続き、ケース記録のチェックを行うと共に、記録の意味や書き方等についての指導を行う。	引き続き、ケース記録のチェックを行うと共に、記録の意味や書き方等についての指導を行っている。	ケース記録のチェックを行うことで、計画と記録の関連性は徐々に向上してきている。	

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。